

7/13 (火) ~ 9/20 (月) の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル



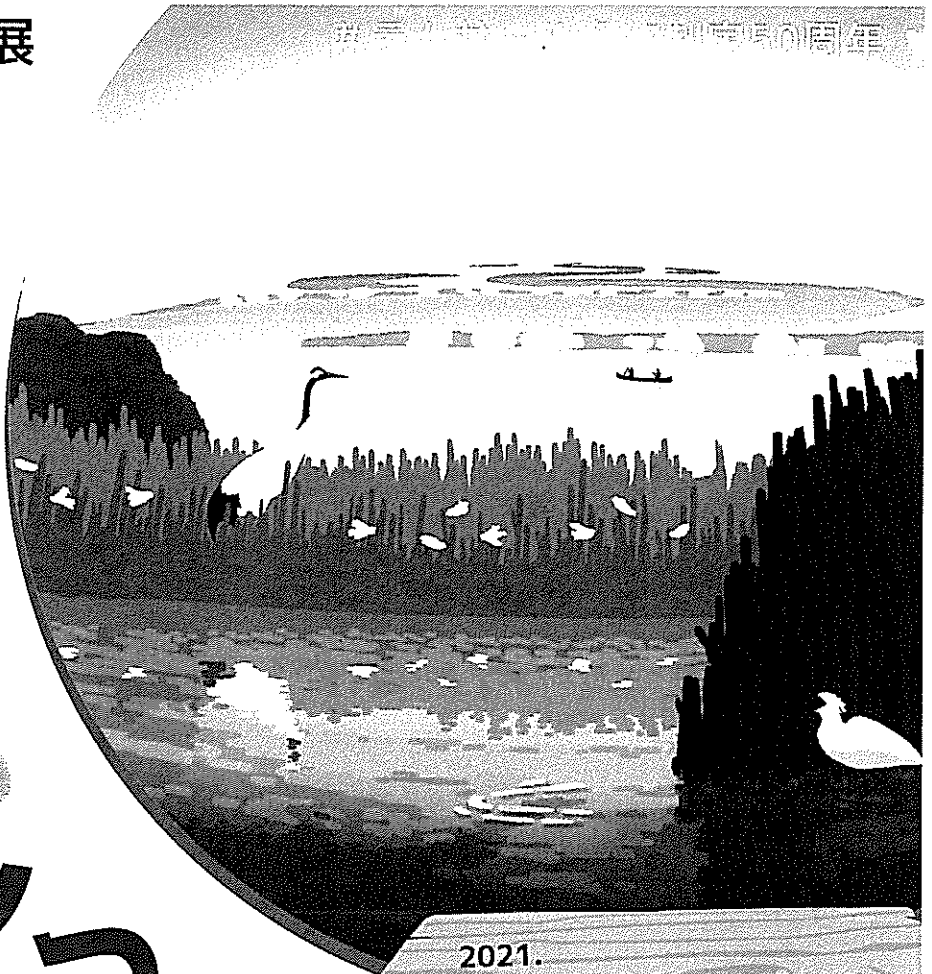
報道発表資料の配付日時 7月9日(金) 16時 30分

発表項目 (行事名)	北海道博物館 第7回特別展 「あっちこっち湿地～自然と歴史をめぐる旅～」の開催		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	/
概要	<p>かつては日本最大の湿原だった石狩大湿原の開拓の歴史など、歩いて、感じて、学べる展示から、北海道の湿地の魅力を掘りおこします。 今年はラムサール条約制定50周年です。湿地で見られる鳥や魚、昆虫や植物、そして幻になってしまった生きものたちが博物館に大集合します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開催期間 令和3年(2021年)7月13日(火)～9月20日(月・祝) 9:30～17:30 2 会場 北海道博物館 特別展示室(札幌市厚別区厚別町小野幌53-2) 3 展示資料・体験展示 北海道産のトキ、カワウソ、チョウザメ、タガメなど絶滅種・希少種を含む生物標本、開拓期の地図や道具、湿地を歩く・ハマる体験展示等、約1,800点 4 観覧料 一般 1,000円ほか(詳細は別紙チラシ) 5 実施体制 (主催)北海道博物館、(共催)北海道ラムサールネットワーク 6 その他 本展覧会では、三密回避、ソーシャル・ディスタンス確保のほか、従来の「ハンズオン展示」(手で触る形の体験展示)に代わる展示手法「フットオン展示」(歩いた感触を楽しむ展示、足踏み式スイッチの利用等)の開発・活用など、展示の楽しさと両立できる感染防止策を講じます。 <p>※ 7月13日(火)からご観覧いただけますが、新型コロナウイルスの感染状況により変更になる可能性もあります。最新の情報は当館HPでご確認ください。 当館HP https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp</p>		
参考	取材は、会期中に随時受け付けます。無人の状態での撮影等を希望される場合は、閉館後の対応も可能ですので、ご相談ください。		

報道(取材)に当たってのお願い	●本企画を多くの皆様に知っていただけるよう、周知と取材のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	/

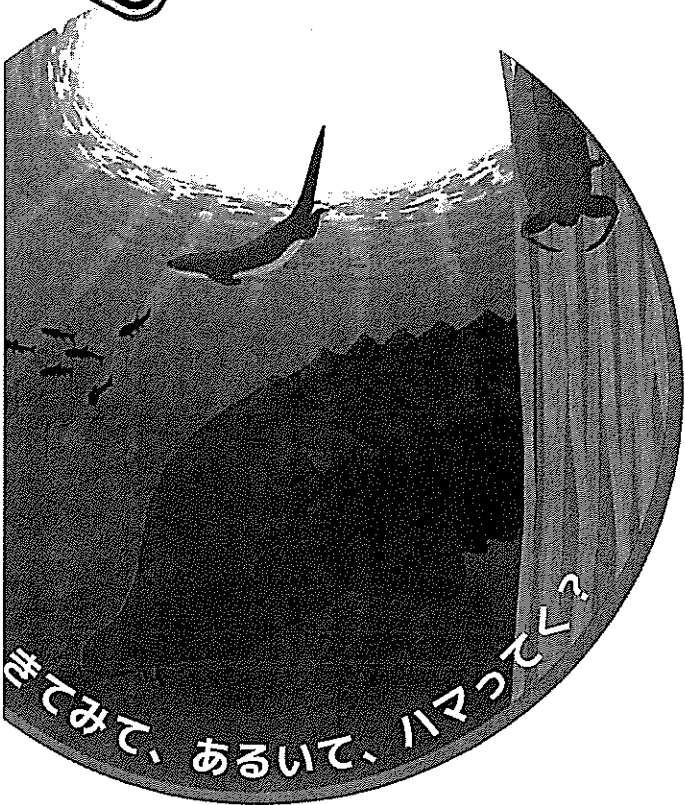
担当 (連絡先)	北海道博物館 TEL ダイヤルイン 011-898-0456 ●展示内容について:表、堀(内線:37、24) ●取材申し込みについて:青柳、渋谷(内線:16、37)		
-------------	--	--	--

あ
っ
ち
こ
っ
ち



2021.

7.10 (土) ▶ 9.20 (月・祝)



し
っ
ち
ち
湿
地

自然と歴史を
めぐる旅

会場 北海道博物館 2階 特別展示室
時間 9:30~17:00 (入場は16:30まで)
休館日 月曜日 (8/9、9/20は開館)、8/10 (火)

※ 感染症の拡大状況によっては会期を変更または中止する可能性があります
※ 感染症対策へのご協力をお願いします ※ 混雑緩和のため入場者数を制限する場合があります
※ 学校団体の予約時間には一般の方の入場をご遠慮いただく場合があります ※ 詳細はホームページで最新情報をご確認ください

北海道博物館 ☎ 011-898-0456
札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>

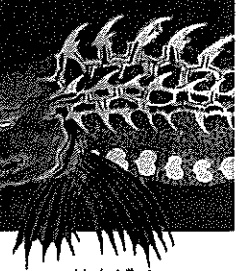


主催 北海道博物館 共催 北海道ラムサールネットワーク
協力 北海道大学北方生物園フィールド科学センター植物園、苫小牧市美術博物館、釧路市立博物館、札幌市博物館活動センター、石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク、一般財団法人北海道歴史文化財団
後援 北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、NHK札幌放送局、FBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UFBC北海道文化放送、TVhテレビ北海道、STVラジオ、AIR-G エフエム北海道、FMノースウェーブ

割引券
お申し込みで
お楽しみください

第7回 特別展
あっちこっち湿地
 ~自然と歴史をめぐる旅~

湿原、沼、川、湖、干潟... 北海道は湿地の宝庫！
 歩いて、感じて、学べる展示が北海道博物館に出現します。
 湿地で見られる鳥や魚、昆虫や植物、そして幻になってしまった
 生きものたちが大集合。さらに、かつては日本最大の湿原だった
 石狩大湿原の開拓など、あなたの足下にもぎっと
 埋まっている湿地の歴史を掘りおこします。



サウザメ
 (チョウザメ?)
 「異魚図贊」
 国立国会図書館
 デジタルコレクション

展示構成

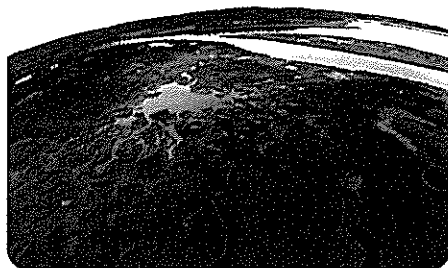
- 1章 世界は湿地でつながっている
- 2章 湿地の生きものたち
- 3章 消えゆく石狩大湿原
- 4章 北海道あっちこっち湿地



スゲハムシ



シマアオジ
 (サロベツ・エコ・ネットワーク)



沼だらけの湿原 (サハリン、ロシア)



カラフトルリシジミ

利用案内

会期 2021年7月10日(土)~9月20日(月・祝)
 時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
 休館日 月曜日(8/9、9/20は開館)、8/10(火)

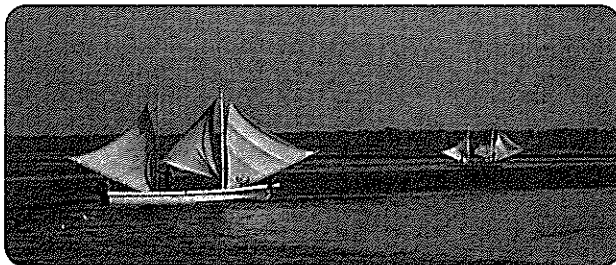
特別観入場料

一般 1,000 (850) 円 高校・大学生 350 (250) 円

総合展示セット券

一般 1,300 (1,200) 円 高校・大学生 450 (400) 円

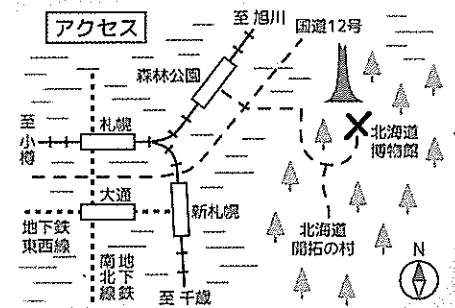
※ () 内は10名以上の団体、または割引券をお持ちの方の料金です
 ※ 中学生以下、65歳以上の方は無料(年齢のわかるものを提示ください)
 ※ 障がいのある方は無料(障害者手帳などをご提示ください)
 ※ 高校生は土曜日無料



打瀬舟の北海しまえび漁 (野付半島ネイチャーセンター)



ウリュウコウホネ
 (雨竜沼湿原を愛する会)



バス 新札幌駅から バスターミナルのりば⑥ジェイ・アール
 北海道バス新22「開拓の村」行き「北海道博物館」下車
 森林公園駅から徒歩 東口のりば 上記のバスに乗り
 徒歩 森林公園駅から徒歩20~25分 お車 駐車場あり(無料)

歩いて、楽しむ、
 フットオン展示

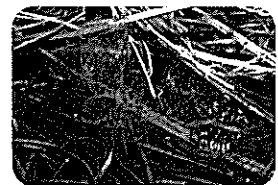


トキ

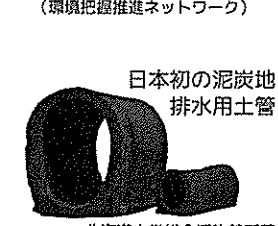
「鳥類写生図」
 国立国会図書館デジタルコレクション



ナガバノモウセンゴケ
 (サロベツ・エコ・ネットワーク)



キタサンショウウオの卵
 (環境把握推進ネットワーク)



日本初の泥炭地
 排水用土管

北海道大学総合博物館所蔵

関連行事

ミュージアムカレッジ

サハリンの湿地・鳥・人

湿地と渡り鳥について、そして先住民の
 植物利用についてお話しします

7月18日(日) 13:30~15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名
 講師：水島未記、表溪太

ウトナイ湖・勇払原野の野鳥と自然

ウトナイ湖とその周辺で見られる野鳥や
 自然環境の変化についてお話しします

8月29日(日) 13:30~15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名
 講師：江崎逸郎氏 苫小牧市美術館
 中村聡氏 (公財) 日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリ

札幌にもいた!? カワウソのお話

絶滅してしまったカワウソの系統や生態、
 文書に残された記録についてお話しします

9月5日(日) 13:30~15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名
 講師：山田伸一、表溪太

自然観察会

水辺の生きものをさがそう!

池の生きものを捕まえて、じっくり観察
 してみましょう

7月24日(土) 10:00~12:00

会場：自然ふれあい交流館 集合
 定員：20名(子ども向け、保護者同伴)
 講師：堀繁久、水島未記、表溪太
 自然ふれあい交流館スタッフ

講演会

湿原の自然誌と変遷

北海道の湿原の成り立ちや特徴を説明
 し失われつつある石狩湿原や静狩湿原
 の変遷についてもご紹介いたします

9月12日(日) 13:30~15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名
 講師：富士田裕子氏 (園長)
 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園

特別イベント

夏だ! 海だ! 川だ! 湿原だ!
 全部まとめて シッチフェス!

湿地のふしぎを発見する野外イベント
 ステージ×体験ブース×湿地グッズ×
 謎解きウォークラリー

8月15日(日) 10:00~16:00

会場：北海道博物館 周辺 申込：不要
 ※ ホームページで最新の情報をご確認ください

申込方法

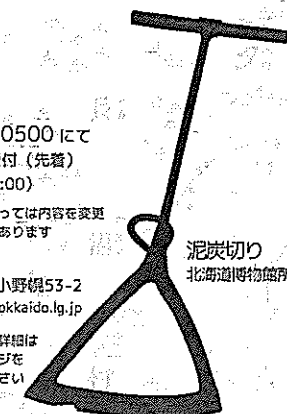
お電話 011-898-0500 にて
 開催の1か月前から受付(先着)
 (受付時間9:30~17:00)

※ 感染症の拡大状況によっては内容を変更
 または中止する場合があります

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>



行先などの詳細は
 ホームページを
 ご確認ください



泥炭切り
 北海道博物館所蔵